



キヤノンプレジジョン株式会社

代表者名：代表取締役社長 藪 猛二
業種：製造業
所在地：弘前市
労働者数：2,140名（男性1,567名、女性573名）

1 企業概要

カメラ、事務機、光学機器をはじめとする映像情報機器で広く世界に親しまれているキヤノン。キヤノンプレジジョンは、その商品力を支えるグループ企業として、3つの事業（モーションコントロール・トナーカートリッジ・センサー）を展開しています。

2 子育て支援に力を入れたきっかけと効果

キヤノンプレジジョンでは、子育て支援制度を整備できていたことにより、2008年に1回目の認定を受けることができました。さらに、ダイバーシティ推進活動を進めていく中で子育て支援を強化するため、制度拡充などに取り組みました。30分単位で勤務時間を最大2時間短縮できる短時間勤務制度では、“小学校就学前まで”から“小学3年生修了まで”に拡大しました。女性だけではなく、男性従業員もこの制度を活用しており、それぞれのライフスタイルにあった働き方を選ぶことができるようになりました。その結果、今回2021年には4回目の認定を受けることができました。

3 計画に掲げた目標

（計画期間 平成29年4月1日～令和3年3月31日）

- ①両立支援制度の利用率向上を目指し、制度の利用を推進する。
- ②時間外労働削減および年次有給休暇取得を促進する取組を継続し、総実労働時間を適正に保つ。
- ③第四期に引き続き、社会貢献活動を通じて、次世代を担う子供が参加できる地域貢献活動を実施する。

4 主な取組内容・取組効果

主な取組内容

- 「育児短時間制度」「所定外労働の免除」「時間外労働及び深夜業の制限」について、小学校3年生を修了するまでの期間に延長。
- 年次有給休暇の取得促進 等

育児休業等の取得状況

計画期間において、

- ・育児休業を取得した男性労働者 18名
- ・配偶者出産休暇を利用した男性労働者 227名
- ・育児休業を取得した女性労働者 88名
（取得率：男性：89% 女性：98%）

※出産した女性労働者は全員育児休業を取得しています。

取組における工夫点

男性の育児休業を推進するため、社長や管理職からの取得推進メッセージや育児休業を取得した男性社員へのインタビューなどを社内広報紙で発信しています。これらの取組により、男性の育児休業取得者は年々増加しております。年次有給休暇の取得推進については、勤務管理システムに年間休暇予定を年初に登録する、定期的に行う上司との面接の際に、休暇登録状況を確認し合う等、計画的に取得できる環境を整備しています。

育児休業を取得した男性労働者の声

取得予定の半年くらい前から少しずつ業務調整を上司にお願いし、自分がいない分をカバーしてもらえる環境を整えてもらいました。職場の理解や協力のおかげでとてもスムーズに取得できました。産まれたばかりの子どもの世話はとても大変でしたが、夫婦で協力して取り組むことで大変さは半分以下、喜びや楽しさは2倍以上になるということを実感できました。この時期の経験は今後の人生に大きな影響を与えたいと思います。

5 企業代表からのメッセージ

キヤノンプレジジョンでは、子育てを行う従業員が仕事と家庭を両立できるように、社内制度拡充や男性の育児休業取得を推進しております。男女ともに働きやすい環境を整えることで従業員が生き生きと働き、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。